

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 30年 6月 22日

事業所名 たらちゃん栄南

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	△		全体を見通せる活動スペースを心掛けています。	利用者増加によりやや手狭感があるが、仕切りで部屋割りする等工夫しています。
	② 職員の配置数は適切である	○			
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			トイレなど車いす対応が厳しい箇所がある。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦ 事業者向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			定期的に外部研修に参加し、並行して施設研修として取り入れてます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修、会議を定期的に行い情報の共有に努めています。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	○			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		週案・月案を作り、支援計画に沿ったきめ細かい療育を心掛けております。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないように工夫している	○		内容に偏りがない事、発達段階に合わせた療育を提供しております。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		週案を元に活動内容を確認し支援に取り組んでおります。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々ミーティングを行い振り返りを徹底しております。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			